

新除草・調節剤

マーシェット粒剤 5

ブタクロール除草剤

(取扱メーカー) 三 共株式会社
日 本 農 薬株式会社
北興化学工業株式会社
(マーシェット) 日本モンサント株式会社
(普及会事務局)

対象作物：水稻

性状・作用特性：本剤は2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)アセトアニリドを5%含有する除草剤で、ノビエ、カヤツリグサ、キカシグサ等の一年生雑草のみならず、多年生雑草のマツバイ、ホタルイ、ミズガヤツリにも安定した効果を示す。とくに最近、北海道、東北地方で問題になっているホタルイに有効であることが注目される。散布後幼芽、幼根から吸収され低濃度で強力に雑草を枯殺し、しかも温度の影響を受けにくいので、北海道、東北のような低温地帯でも安定した効果を発揮する。また、残効性にもすぐれ、散布後40日以上効果の持続した試験例がある。

いっぽう、本剤は通常の使用法であれば、水稻の生育収量におよぼす影響はほとんどなく、とくに温度差による影響が少ないので、北海道から九州に至るまで広範囲に安全に使用できる。

毒性・残留性：本剤のラット急性経口毒性LD₅₀は3,300mg/Kg, ウサギ急性経皮毒性は4,080mg/Kgである。魚毒は、コイのTL_m(48時間)が原体で0.81ppm, 製剤(粒剤)で6.5ppm, ミジンコではTL_m(3時間)が40ppm以上でBランクに属する。玄米残留および稲わら残留はいずれも通常の使用量では検出限界以下、土壌残留の半減期は施用後2週間以内である。

使用方法：田植後4日からノビエ1.5葉期(田植後10日頃)までに粒剤を10アールあたり3~4Kg湛水のまま手まき、あるいは散粒機で水面に均一に散布する。

使用上の注意：広葉雑草の優占する地帯では早めを使用し、散布後3~4日間は水深を3~5cmに保つこと。また、砂質土および漏水の大きな水田(1日のたて浸透が2cm以上)での使用はさけること。

エックスゴーニ粒剤

クロメトキシニル除草剤

(取扱メーカー) 石原産業株式会社
日本農薬株式会社

対象作物：水稻

性状・作用特性：本剤は2,4-ジクロルフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフェニルエーテル7%を含有する灰褐色細粒剤である。

本剤は、日本農薬㈱と石原産業㈱の両社が共同開発した新ジフェニルエーテル系の水田初期除草剤で次の特長を有している。

1. 殺草力が強く、抑草期間が長く、30~40日以上と観察されている例も多い。
2. 適用雑草の幅が広く、ノビエ、カヤツリグサ、一年生雑草の他、マツバイにも高い効果を示す。(ウリカワにも数多くの有効例がある。)
3. 処理適期の幅が広く、移植前後から雑草の生育初期(ノビエ1葉期=移植8日後頃)まで優れた効果を示す。
4. 水稻に安全で、土壌の種類や、温度の影響を受けることが少なく、殺虫剤、殺菌剤との近接散布

新除草・調節剤

による薬害の心配はない。

ときに初期に葉鞘褐変することもあるが、その後の生育に影響を与えることはない。

5. 人畜、魚貝類に安全である。

6. 上記の諸点より、普通移植のみならず、稚苗機械移植に好適である。

毒性：急性経口毒性 $LD_{50} = 3,300.0 \text{ mg/Kg}$

(マウス)で極めて軽い。(普通物)魚毒性は、原

体 $48 \text{ hr TLM } 1.2 \text{ ppm}$ でBランクであるが、

有効成分が水難溶性のため、製品では $48 \text{ hr TLM } 237 \text{ mg/Kg}$ で極めて安全な薬剤である。

使用方法

使用時期……移植前3日～移植後8日

(ノビエ1葉期まで)

適用土壌……砂壤土～埴土(極端な漏水田を除く)

使用量…… $3 \sim 4 \text{ Kg/10a}$

第1表 部門別除草剤・生育調節剤試験受託点数一覧

植調協会だより

◎ 第25回役員会要旨

昭和48年5月29日、東京農林年金会館において開催し、次の議題に基き審議の上、可決された。

- 役員改選の件
- 昭和47年度事業報告承認の件
- 昭和47年度決算報告承認の件
- 昭和47年度剰余金処案(案)承認の件
- 昭和48年度事業計画(案)承認の件
- 昭和48年度収支予算(案)承認の件
- 研究所設立の件

以上の議題につき審議、可決したが、次にその概要をのべる。

区 分	作用性試験	委 託 点 数			計
		適 用 性 試 験			
		適 - A	適 - 1	適 - 2	
A 昭和46年度冬作関係					
Ⅰ) 除 草 剤					
麦 作	5	25			30
イ グ サ	0	9			9
水稻刈取後	0	68			68
馬 鈴 薯	0	3			3
芝	0	24			24
そ さ い	0	168			168
Ⅱ) 生育調節剤					
そ さ い	0	16			16
小 計	5	313	0	0	318
B 昭和47年度夏作関係					
Ⅰ) 除 草 剤					
水 稻	125		115	920	1,160
畑 作 関 係	37	167			204
そさい関係	0	137			144
果樹園関係	0	136			136
桑 園 関 係	0	35			35
茶 園 関 係	0	15			15
林 地 苗 圃	0	10			10
牧 野 草 地	0	20			20
芝 生	0	41			41
Ⅱ) 生育調節剤(材)					
水 稻	26	70			96
畑 作	4	6			10
そ さ い	5	67			92
果 樹	0	162			162
桑 園	0	7			7
茶 園	0	8			8
マ ル チ	0	28			28
小 計	204	909	115	920	2,148
合 計	209	1,222	115	920	2,466